

## 1.教科に関する調査結果の分析

### ●国語《概要》

#### ◎ 国語 A 『主として知識』

ほぼ全ての項目において、全国の平均正答率を上回る良好な結果であった。

#### ◎ 国語 B 『主として活用』

ほぼ全ての項目において、全国の平均正答率を上回る良好な結果であった。

### ●国語《各領域における成果と課題、指導のポイント》

#### 話すこと・聞くこと A↑ B↑

知識：全項目において、全国の平均正答率を上回る良好な結果であった。

活用：全項目において、全国の平均正答率を上回る良好な結果であった。

#### 書くこと A↑ B↑

知識：全項目において、全国の平均正答率を上回る良好な結果であった。

活用：ほぼ全ての項目において、全国の平均正答率を上回る良好な結果であった。

#### 読むこと A↑ B↑

知識：全国の平均正答率を上回る良好な結果であった。

活用：ほぼ全ての項目において、全国の平均正答率を上回る良好な結果であった。

#### 言語事項 A↑

知識：ほぼ全ての項目において、全国の平均正答率を上回る良好な結果であった。

### ☆指導改善のポイント

- ・ローマ字の読み書きについては、全国よりも上回る良好な結果であったが、誤答が四割から五割ほどあった。ローマ字に触れる機会を多くもち、読み書きができるように取り組む。
- ・文脈に即した漢字を使えるように漢字の意味を理解させる指導や、漢字に興味をもって、自ら日常の作文日記などで活用できるよう取り組む。
- ・二つの資料から読み取ってまとめることに課題が見られた。複数の資料をもとに自分の考えを書く学習に取り組む。
- ・話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って質問する力をつける。
- ・目的や意図に応じて、条件に合わせて自分の考えを短くまとめたり、詳しく書いたりできるよう取り組む。

報告の中の矢印は全国平均との関係を表している。

全国の正答率を上回る	↑
全国の正答率をやや上回る	↗
全国の正答率とほぼ同じ	→
全国の正答率をやや下回る	↘
全国の正答率を下回る	↓

## ●算数（概要）

### ◎ 算数A『主として知識』

ほぼ全ての項目について、全国の平均正答率を上回る良好な結果であった。

### ◎ 算数B『主として活用』

全て全国の平均正答率を上回る良好な結果であった。

## ●算数（各領域における成果と課題、指導改善のポイント）

**数と計算** A ↗ B ↑

知識：ほぼ全ての項目において、全国の平均正答率を上回る良好な結果であった。

活用：全項目において、全国の平均正答率を上回る良好な結果であったが、示された式の中の数値の意味を理解してそれを記述する問題で課題が見られた。

**量と測定** A ↑ B ↗

知識：全項目において、全国の平均正答率を上回る良好な結果であった。

活用：全項目において、全国の平均正答率を上回る良好な結果であった。

**図形** A ↑ B ↗

知識：全ての項目において、全国の平均正答率を上回る良好な結果であった。

活用：全項目において、全国の平均正答率を上回る良好な結果であったが、三角定規の角の大きさをもとに、それを並べてできる形を判別したり、角の大きさに関連づけてその形ができたわけを説明する問題では課題が見られた。

**数量関係** A ↑ B ↑

知識：全項目において、全国の平均正答率を上回る良好な結果であった。

活用：全項目において、全国の平均正答率を上回る良好な結果であった。

### ☆ 指導改善のポイント

- ・ 実際に作図や測定をする機会を増やすなど、作業的、体験的な活動を通して、量感覚や数学的実感をともなう学習に取り組む。
- ・ 数と計算においては、式の中の数値における意味や関係性について、確実に理解させるようにする。
- ・ 自分の解き方や考えなどを順序立てて、分かりやすく書き、説明する活動を進めている。さらに、その際用いた根拠となる定義や定理なども落とさず明記させていくようにする。

## 2. 生活習慣や学校環境等に関する調査結果の分析

### ●全体の概要

#### ◎家庭生活

「朝食を毎日食べている」や「起床時刻が決まっている」については肯定的な回答が多く、基本的な生活習慣については、ほとんどが肯定的な回答であった。

「家の手伝いをする」「家の人と学校の出来事について話をしている」「地域の行事に参加する」は、全国平均を下回っている。

#### ◎家庭学習

家庭学習は、平日・休日とも「家庭学習している」「計画をたてて学習している」割合は全国平均を下回っている。「宿題をする」は、全国平均を上回っているが、「予習・復習をしている」は、全国平均を下回っている。

#### ◎自己肯定感

すべての項目において肯定的な回答が多く、全国平均とほぼ同じである。

#### ◎学校生活

「学校は楽しい」「友だちに会うのは楽しい」に対する回答は、肯定的なものが9割以上で全国平均を上回っている。「学校のきまりをまもっている」は約9割で全国平均とほぼ同じである。また、ほぼ全員が「いじめはいけない」と回答しており、全国平均をやや上回っている。

#### ◎授業

「授業の内容はよく分かる」と回答しているのは約8割であった。「授業は役立つ・大切」と回答しているのは、国語・算数とも約9割であった。「勉強は好きだ」と回答しているのは、国語・算数とも約6割であるが、算数は全国平均を下回っている。

### ●各領域の詳細

#### 家庭生活

約9割の児童が、決まった時間に起床している。また、ほぼ全ての児童が、朝食を毎日食べている。決まった時刻に就寝している児童は7割5分で、11時以降に就寝している児童が2割いる。

コンピューターゲームを2時間以上している児童は、全国平均を下回っているが、2割5分いる。携帯電話やスマートフォンで、通話やメール、インターネットをしている時間が2時間以上の児童は、約1割だが、30分以上1時間以下の児童は約4割であった。

「家の手伝いをしている」「家族と学校のことを話している」児童は7割5分で全国平均を下回っている。地域の出来事に興味がある児童は約7割いるが、地域の行事に参加している児童は5割5分で全国平均に比べて少ない。

#### 家庭学習

30分以上家庭学習をしている児童は約8割で全国平均を下回っている。学習塾で勉強している児童は5割5分、宿題をしている児童は約9割で全国平均を上回っている。しかし、「計画を立てて勉強をしている」約6割、「予習をしている」「復習をしている」「教科書を使って自学自習する」3割5分が肯定的な回答をしているが、全国平均を下回っている。1日あたりの読書時間については「10分以上」が5割、「月に1～3回以上図書館へ行く」児童については約3割で全国平均を下回っている。週に1,2回新聞を読んでいる児童は約3割であるが、一方、「テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る」という質問には約9割がよく見る・時々見ると回答していて、全国平均とほぼ同じである。

## 自己肯定

「ものごとをやり遂げて、うれしかったことがある」「人の役に立つ人間になりたい」9割5分「将来の夢や目標をもっている」「自分には、よいところがあると思う」、約8割、「難しいことに挑戦する」7割5分「発表がとくいである」については、5割5分が肯定的に回答しており、全国平均とほぼ同じである。

## 学校生活

「学級のみみんなで協力してやり遂げてうれしかったことがある」8割5分、「先生は良いところを認めてくれる」8割で全国平均とほぼ同じである。

また、「話し合っけて決まりを決めている」7割、「自分とは異なる意見のよさを生かして、折り合いをつけて意見をまとめる」3割5分、「先生はわかるまで教えてくれる」7割5分で全国平均を下回っている。

## 授業

授業全体について「めあてやねらいが示されている」「目標やまとめを書く」については約9割、「振り返る活動をしている」約8割「自分の考えを説明したり書いたりするのは難しいとは思わない」5割5分の児童が肯定的な回答をしており、全国平均を上回っている。しかし「話し合う活動をしている」8割、「友だちの考えを聞いて、自分の考えを伝える」7割「自分の考えが伝わるように工夫して発表している」6割「自分たちで課題を立て、情報を集めて整理し、発表する活動をしている」約5割などは全国平均を下回っている。

国語では「授業の内容はわかる」は8割5分で全国平均を上回っている。「目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり書いたりする」5割5分、「段落や話のまとまりごとに、内容を理解しながら読む」「理由がわかるように気をつけて書く」7割、「うまく伝わるように話の組み立てを工夫する」約6割で全国平均を下回っている。

算数の授業では「簡単な解き方を考える」「考えがわかるようにノートに書いている」「公式などのわけを理解しようとする」は約8割で全国平均とほぼ同じである。「算数がわかる」7割5分「新しい問題を解いてみたい」約7割、「算数が好き」5割5分「生活の中で活用できないかを考える」「諦めずにいろいろな方法を考える」5割などは全国平均を下回っている

### ★今後の指導について

**授業では、めあて・課題の確認→自分の考えを書く→意見を交流する→わかったことや考えをまとめる授業の流れが定着している。**

**今後は、自分で課題を見つけて調べて発表する活動をする機会を増やす。また、話し合い活動を重視し、友だちの意見を聞いて、自分の意見を分かりやすく伝える工夫をすることや話し合っけて意見をまとめることなどを指導していく。**

今回の調査から見えてきた学習面の課題を受け止め、種々の改善策を具体化した授業改善に取り組んで参ります。一方、生活面から見えてきました課題につきましては、保護者の皆様方と懇談をはじめとしまして、いろいろな場面で子ども達を真ん中に話し合い、心豊かな感受性あふれる「千新っ子」の育成に努めていきたいと考えております。今後とも本校の教育の推進にご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

尚、今回の分析結果につきましては、1年生から6年生までの保護者の皆様に配付させていただきますので、各家庭で子ども達と学習、生活の様子について話し合っけて下さい。